

梶田先生と振り返る思い出の一コマ

Vol.31

1996(平成8)年7月、市はオランダのナイメーヘン市と姉妹都市の提携を結びました。世界最大の国際ウォーキング大会「インターナショナル・フォーデーズ・マーチ」の開催地であるナイメーヘン市とは、ウォーキングを通じて15年以上にわたり交流を深めていました。また、同年9月には日本初となるウォーキングセンターがオープンし、本市のウォーキング文化が大きく発展することとなりました。

庁舎前庭には姉妹都市提携記念碑もあるんだよ。



2002(平成14)年、大岡市民活動センターにはナイメーヘンとの友好を示すオランダ風車が設置されたんだよ。



ナイメーヘン市と姉妹都市提携、ウォーキングセンターオープン

1996(平成8)年



キャラクター紹介

市内の小・中学生に配布された学習漫画『漫画でわかる 梶田隆章先生とニュートリノ』のキャラクターたちです。

ニュートリノ三兄弟



電ちゃん ミューやん タウっち

梨花(姉)



歩(弟)



梶田隆章先生



東松山市生まれ。東京大学宇宙線研究所教授。1998年にニュートリノ振動の発見を発表。2015年にノーベル物理学賞を受賞。



しがほつやま
キッズ集合!

おしえて『文化財』

正法寺の中世文書～古文書から分かること～

正法寺(岩殿)が所蔵する古文書のうち「上田宗調制札」には、天正3(1575)年に上田朝直(案独斎宗調)が、正法寺の近隣に対し、岩殿八王子山の草木を寺の関係者以外が刈り取ることを禁止したことが書かれています。朝直は松山城(吉見町)の城主も務めた人物で、朝直が正法寺を保護したということは、つまり上田氏の支配が正法寺周辺に及んでいたことも同時に示しています。このように、古文書を読み解くと、書かれていること以上にたくさんの歴史的な情報を得ることができます。

このほか「上田長則判物」「前田利家禁制」をあわせた3点が「正法寺の中世文書」として市指定文化財になっています。



上田宗調制札



前田利家禁制



上田長則判物

問 埋蔵文化財センター
TEL 27-0333 FAX 27-0334